# 校長室通信

平成２５年度
第１７号
下野市立南河内第二中学校
発行者　横　島　　清

Ｈ２５．１２．２５

いよいよ明日から、冬休みに入ります。冬休みは期間としては短いですが、年末の慌ただしさを感じたり、ゆったりとしたお正月を感じたり、生活が普段と一変することがあります。今年１年をよく振り返り新しい年が希望の年になるように、家族でよく話し合って過ごしましょう。

## １　冬休み前講話から

### （１）いよいよ明日から冬休み

・期間は短いですが、各学年、個人の課題をしっかり実行しましょう。
・正月が入りますが、いつも通り変わらぬ生活リズムを貫きましょう。
・特に３年生は、冬休み後半からの私立高校入試にしっかり備えましょう。

### （２）６つのお願い

１　早寝早起き、朝ご飯の実践に努めよう。
２　勉強は毎日必ずやろう。
３　部活動や習い事は必ず行う。
４　事故に遭わない起こさない。自分の命は自分で守るの気持ちで生活しよう。
５　公共の場での過ごし方の意識を強く持って出かけよう。
６　年末年始には、大掃除、餅つき、初詣、おせち料理など家族との団らんを持とう。

### （３）健康が一番大事

・インフルエンザや感染性胃腸炎が流行してきていますので、十分気をつけて生活してください。

## ２　南河内一周駅伝大会に参加

１２月８日（土）の１０時に本校スタートで、南河内一周駅伝大会が開催されました。本校では、２年生からの希望参加になっていて、今年度も予選会を行い、約２週間の早朝練習を経て大会に臨みました。Ａチームは総合２位、中学生の部では１位に輝きました。また、Ｂチームも検討し、総合１０位に入り特別賞をいただきました。

二中生の頑張りが、各方面で展開されています。文武両道、努力のあとに結果はついてきます。

## ３　新入生説明会実施

１２月１２日（木）に新入生説明会がありました。次年度、本校に入学予定の６年生に本校を体験して安心して入学してもらおうという趣旨です。本校会場での実施は、昨年度からです。今年度は更に進化して、２年生の各学級で一緒に授業を体験しました。１組；社会（社会クイズ・コンピュータ使用）、２組；体育（ロビンソン体操）、３組；数学（正負の数）、４組と５組；英語（英語で二中クイズ）の授業でした。どの授業も、ゲームやグループ活動を取り入れ、小中学生が一緒になり楽しく学習していました。

数学（トランプを使って正負の数）

## 〔 保護者からの学校評価について　２ 〕

前回は学習関係が途中になってしまいましたので、今回はその続きから掲載させていただきます。

### 《 １　学習に関すること その２ 》

**○授業や学習における教員の対応**

**Ｑ；ご意見の要約**

・支援の必要な生徒に対して、学校全体で育てて欲しいと思います。
・教科によっては、授業に関係ない話しが多く、授業内容に集中して指導して欲しい。

**Ａ；お答え**

支援が必要であったり配慮を要する生徒については、会議等で十分な理解を図るように努めています。また、打合せ等で必要に応じて共通理解を図るようにしています。他の学校の様子等も研修して、個に寄り添えるよりよい対応になるようにしていきたいと思います。

ご指摘の授業中の教師の授業に関係ない話しが、たびたびあったり長かったりすることは、決して好ましい状況とは言えません。生徒の学習を、細やかに支援する観点から反省し改善していきます。

○授業参観

Ｑ；ご意見の要約

・授業参観の科目が３回続けて数学でした。他の先生の授業や様子が見たかったです。

Ａ；お答え

気づかずに実施してしまい申し訳ありませんでした。今後、調整をしっかり行い実施したいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

○入試情報

Ｑ；ご意見の要約

・入学時より情報があったらと感じていることは進路情報です。

Ａ；お答え

今年度は特色選抜の実施など入試の変更がありました。従って、早期からの入試情報の可能な限りの提供が必要だと思います。進路だよりの充実や学年ＰＴＡの活用などで、情報の提供を充実させていきたいと思います。また、担任や学年等にお尋ね頂くと個人的な対応も可能です。

## 《 ２　部活動に関すること 》

Ｑ；ご意見の要約

・部活動の予定をもっと早く教えて欲しい。
・学校教育の一環であるのだから、育成力のある指導を受け能力を開花させる様に指導して欲しい。
・主顧問と副顧問との指導で、コミュニケーション不足のため生徒に戸惑いが生じることがある。
・顧問との信頼関係が、薄いように思います。
・部活動の熱心な指導はありがたいが、成長期の体への負担が多くならないようにして欲しい。

Ａ；お答え

部活動の計画表については、１ヶ月前に出す約束になっていますので、さらなる徹底を図っていきます。競技の専門性の高い顧問は、中学校ではあまりいませんが、各種指導者講習会などに参加して、専門性や指導力の向上に努めています。また、主顧問と副顧問の指導観のすりあわせは、できるだけ多くしていき生徒との信頼関係の醸成に努めます。 指導法の研修を全体および個人的に行い、生徒の心身の好ましい発達に配慮した指導を目指したいと思います。

## 《 ３　行事に関すること 》

Ｑ；ご意見の要約

・二中祭の合唱や企画運営は素晴らしかった。生徒たちが皆で協力して一つのことを創り上げる経験や達成感を味わい涙を流せる経験は何事にも代えがたい。
・生徒に負担をかけない行事日程をお願いしたい。（特に二中祭と下野模試）
・体育祭の音響をもう少し良くしてもらいたい。アナウンスの工夫もお願いしたい。
・二中祭で、バザーがあると利益が出て良いと思います。
・小学生を連れて来る場合には、マナーを守って聞くようにご指導願いたい。

Ａ；お答え

二中祭の日程については、学校の行事の中でも最優先して位置付けているものです。ちょうど巡り合わせで、その時期と下野模試がご指摘のように重なってしまいました。職員会議において検討をしてみます。校舎外の音響については、市への改善要望を出しています。しかし、費用がかかるものですので修理まで至っていません。バザーについては、確かに利益が出る良い企画と思います。しかし、二中祭の現在の忙しさや意義を考えたとき、利益に代え難いものがあると思います。小さい子のマナーについては、案内状やその他の方法で訴えると共に、その場での指導なども考えていきたいと思います。

**【 精進３ 反省のある毎日を送る 】**

一日を終えた後、その日を静かに振り返り、反省をする習慣を持ちましょう。例えば、その日の行いが、「人に不愉快な思いをさせなかったか」「不親切ではなかったか」傲慢ではなかったか」「卑怯な行いはなかったか」利己的な言動はなかったか」と、振り返り、人として正しいことを行えたか問いかけてみます。

もし自分の行動や発言に反省すべき点があれば、改めなければなりません。反省のある毎日を送ることは、人格を向上させ、人間性を高めていくことにつながります。日々の反省が、自分の悪い心を抑え、よい心を伸ばしてくれるからです。

常に進歩向上できる人は、「反省のある毎日」を送っている人なのです。